

イギリス	フランス
1509.4.21、イギリス、チューダー朝初代の国王ヘンリ7世(52)が没する。 1509年、イギリス、デジデリウス・エラスムスが「痴愚神礼賛」を著す。 1513.9.9、イギリス、スコットランド王ジェームス4世(40)が、フロッドンの戦いで インランド王ヘンリ8世(22)に敗れ戦死する。王妃マーガレット(24)が、跡を継いだジェームス5世の摂政となる。 1515年、イギリス、ヘンリ8世(24)が圍い込み制限法を設ける。 1527年、イギリス、ヘンリ8世(36)が教皇に、王妃キャサリン(42)との離婚許可を求める。 1530.11.29、イギリス、ヘンリ8世の離婚問題の処理をめぐって1529年に失脚した枢機卿・大法官のトマス・ウルジー(55?)が反逆の容疑で逮捕され、護送中に病死する。 1532.7.6、イギリス、教皇クレメンス7世(54)が、ヘンリ8世の離婚を認めないと宣言したため、ヘンリ8世は教皇庁への納税を拒否する「初収入上納禁止令」を発効させる。 1532年、イギリス、ドイツの画家ハンス・ホルバイン(子、35?)が、2度めの渡英をする。1536年にはヘンリ8世の宮廷画家となる。 1533.春、イギリス、議会在が教皇の最高司法権を否定し、イギリスは教義的にもローマから分離する。 1533.5.23、イギリス、ヘンリ8世はみずからが任命した大司教トマス・克蘭マー(44)に、王妃キャサリン(48)との離婚を成立させる。 1533.7.11、イギリス、アン・ブーリン(26)を王妃として戴冠させたヘンリ8世が、教皇に破門宣告される。 1534.11、イギリス、イギリス教会がローマ・カトリックから独立することを定めた国王至上法が制定される。 1535.7.6、イギリス、ヘンリ8世が、トマス・モアを反逆罪で処刑する。 1535年、イギリス、トマス・クロムウェル(50)の進言によって、ヘンリ8世が修道院の財産の調査を命じる。 1536.5.19、イギリス、ヘンリ8世が2度めの王妃アン・ブーリンを処刑する。 1536年、イギリス、ヘンリ8世が、修道院解散反対などを掲げて蜂起したイングランド北部の反乱鎮圧を命じる。 1538年、イギリス、教区名簿の整備がすすみ、住民の誕生や結婚、死亡の記録が明確になる。 1539.5、イギリス、ヘンリ8世(48)が旧教的教義を擁護した「6か条法」を議会で成立させる。 1540.3.23、イギリス、ウォルサム修道院が国王ヘンリ8世により解散させられ、財産は王室に没収される。 1540.7.28、イギリス、トマス・クロムウェルがヘンリ8世に4番めの妃としてドイツのクレーヴェ公の娘アンを勧めたが、彼女に不満をもったヘンリは半年で離婚、この日。クロムウェルを反逆罪で処刑する。 1542.11.24、イギリス、ヘンリ8世(51)がソルウェイ・モスの戦いでスコットランド軍を破り、同国のイングランドへの帰属を一方的に宣言する。 1542.12.14、スコットランド、国王ジェームス5世(30)が没し、生後1週間の娘メアリ・スチュアートが、母后メアリを摂政として即位する。 1543年秋、ロンドン、ドイツの画家で版画家のホルバインが没する。 1547.1.28、ロンドン、国王ヘンリ8世(56)が没する。王位を9歳のエドワード6世が継ぐ。 1548年、スコットランド、女王メアリースチュアート(6)がフランス皇太子フランソア(4)と婚約し、フランスのアンリ2世の宮廷に移り住む。 1549.1、イギリス、大司教トマス・克蘭マー(60)が、「第1祈禱書」と「礼拝統一法」を発布し、イギリスの教会改革の基礎を確立する。これに対し、6月にイングランド南西部で暴動が勃発、7月には東部のノーフォーク州などで農民一揆(ケットの乱)が起こる。 1553.7.19、イギリス、メアリ1世が即位する。 1554.1、イギリス、メアリ1世とスペイン皇太子フェリペ(27)との結婚に対し、ケント州でサー・トマス・ワイアット(子,33?)が蜂起する(ワイアットの乱)。 1554.2.12、イギリス、前年、在位9日にして廃位された前女王ジェーン・グレー(17)が処刑される。 1554.11、イギリス、議会で国王至上法などの反ローマ立法が取り消され、新教徒迫害は過酷さを増す。 1555年、ロンドン、リチャード・チャンセラーが、ロシアとのあいだで毛皮と木材の独占的貿易を行う「モスクワ会社」を設立する。 1556.3.21、イギリス、前カンタベリ大司教でイギリスの宗教改革者のトマス・克蘭マー(67)が火刑に処される。このころメアリ1世による新教徒迫害は過酷さを増す。 1557.6.7、イギリス、スペイン王フェリペ2世が妻のイングランド王メアリ1世を対仏戦に引き込み、両国はフランスに宣戦する。 1558年、イギリス、メアリ1世が没し、エリザベス1世が即位する。 1558年、イギリス、財政家グreshamが枢密院メンバーに選ばれる。 1559年、イギリス、国王至上法と礼拝統一法が成立する。 1560年、スコットランド、カルヴァン派の影響で、長老を中心とする民衆的教会運営をめざすプレスビテリアン(長老派)教会がつくられる。 1561.8.19、スコットランド、前年、夫のフランソア2世が死去したため、この日、スコットランド王メアリ・スチュアートがフランスから帰国する。旧教徒の彼女は、新教徒の貴族たちと対立する。ルディナント1世(59)のあいだで和平となり、オスマン帝国がハンガリー全土を領有する。 1562.9.22、イギリス、フランスのユグノー軍が、エリザベス1世(29)と条約を結び、支援と引きかえにカレーとル・アーヴルの譲渡を約束する(ハンプトン・コートの密約)。しかし、翌年、ル・アーヴルはフランス軍に奪回される。 1563年、イギリス、イギリス国教会が、信仰個条「39か条」を表明する。10年前の「42か条」より新教色が弱められたものとなる。 1564年頃、イギリス、「清い教会」をめざす清教徒(ピューリタン)らが、国教会の聖職服着用や儀式を拒絶する。 1567.2.9、スコットランド、国王メアリ・スチュアート(25)の2度めの夫ダーンリー卿(22)が、自宅でボズウェル伯(31?)に爆殺される。メアリは5月15日にボズウェルと再婚したため、貴族の不満は反乱へと発展する。 1567.7.24、スコットランド、カーベリー丘で新教貴族軍に敗北したメアリ・スチュアートは退位をよぎなくされ、1歳になったばかりのジェームス6世に譲位する。彼女は湖上のロッホ・リーブン城に幽閉される。 1568.5.16、イギリス、メアリ・スチュアート(26)がスコットランドの幽閉地を脱出してイングランドに逃れる。しかしエリザベス1世(35)によって再び幽閉される。 1576年、ロンドン、俳優のジェームズ・パーベッジが、イギリス初の常設劇場シアター座を市の北部に建設する。 1577.12.13、イギリス、フランシス・ドレークが世界周航に出発する。 1581年、ロンドン、1579年にオスマン朝よりキャピチュレーション(通商条約)を許されたイギリスが、地中海貿易のためのレヴァント会社を設立する。 1586.7.27、イギリス、エリザベス1世の生命をねらうバビントンの陰謀が発覚する。これに前スコットランド女王のメアリ・スチュアートが連座していることがわかる。 1587.2.18、イギリス、メアリ・スチュアートが、エリザベス女王暗殺の陰謀に加担した罪を問われ、処刑される。 1588.8.8、ドーヴァー海峡、スペインの無敵艦隊が、イギリス海軍に大敗を喫する。 1589年、イギリス、ウィリアム・リーが、手編みにかわる足踏みメリヤス編み機を発明する。 1591年、ロンドン、シェークスピア(27)が、史劇「ヘンリ6世」を書く。 1593年、イギリス、議会在が集会禁止法を通過させ、ピューリタンの過激派ヘンリ・バロウ(43?)や分離派のジョン・ベンリ(34)らを処刑する。 1594.8、アイルランド、イギリスの支配が強まるなか、ヒュー・オニール(44)らが反乱を起こす(アルスターの反乱)。反乱軍はスペインに援助を求める。 1595年、イギリス、劇作家のシェークスピア(31)が「ロミオとジュリエット」を発表する。 1595年、アイルランド、イギリス支配に抵抗して前年に勃発したアルスターの反乱が、大規模化する。 1596年、ロンドン、疫病のため閉鎖されていた劇場群が2年前に再開され、この年、スワン座が建設される。 1598.8、イギリス、ヒュー・オニール(48)率いるアイルランド軍が、イエロー・フォードの戦いでイギリス軍に大勝する。	1507年、フランス、ドイツの地理学者ヴァルトゼーミュラーが、アメリカ大陸をはじめて記載した世界地図を刊行する。 1508.12.10、フランス、強大化したヴェネツィア共和国に危機感を抱いた教皇ユリウス2世の提唱で、フランス、神聖ローマ帝国、スペインがカンブレー同盟を結成する。 1510年、フランス、ルイ12世が、訴訟文書などにラテン語ではなくフランス語を使用するという王令を出す。 1515.1.1、フランス、国王ルイ12世(53)が没する。1月25日にフランソア1世(21)が即位する。 1517.3.11、フランス、カンブレーにおいて、関係が険悪化していたフランスのフランソア1世(23)とスペインのカルロス1世(17)とのあいだで、相互不可侵条約が結ばれる。 1517.5.2、フランス、フランソア1世に招かれたレオナルド・ダ・ヴィンチ(65)が、アンボアーズ城に到着する。彼は1519年に没するまでここで余生を過ごす。 1521.6.26、フランス、ルフェーヴル・デターブルら改革派聖職者たちが、ギョーム・ブリソンネを司教に叙任して、モー司教区の改革に取り組む。 1521.8.4、フランス、フランス、イギリス、神聖ローマ帝国がカレーで和平交渉を行う。交渉は決裂し、11月、イギリスと神聖ローマ帝国は同盟してフランスに対抗する。 1521.8.27、フランス、ルネサンス最高の音楽家と称されたフランドルの作曲家ジョスカン・デ・プレ(81?)が、北東フランスのコンデで没する。 1523.9.6、フランス、元帥シャルル・ド・ブルボンが、フランソア1世(33)に対してムーランで反乱を起こす。この反乱を鎮圧したフランス王室は絶対主義の基礎を固める。 1525年、フランス、宗教改革者ギョーム・ファレル(36)が、初のフランス語による典礼書を刊行する。 1526.5.22、フランス、フランソア1世は、マドリード条約を破棄し、教皇クレメンス7世やイタリア諸侯とコニャック神聖同盟を結びカール5世に対抗する。この対立抗争は、1529年のカンブレー和約まで続く。 1526年、フランス、フランスとオスマン帝国が同盟を結ぶ。 1528年、パリ、作曲家クレマン・ジャスカン(43?が、「鳥の歌」「マリニアノの戦い」などのシャンソンを作曲し、刊行を始める。 1528年頃、フランス、ジャン・フェルネルが地球の円周を算出する。 1529.8.5、フランス、カール5世とフランソア1世(35)が、カンブレー和約を締結し休戦する。 1532年、フランス、フランソア・ラブレールが、風刺文学「第二之書パンタグリユエル」を出版し成功を収める。 1532年、フランス、国王フランソア1世(38)が、パリ近郊のフォンテンブロー宮殿の改築を開始する。設計はジル・ル・ブルトンが当たる。 1533.11.1、フランス、神学者カルヴァン(24)の友人ニコラ・コップが、パリ大学総長就任演説で宗教改革の必要性を説く。これに対し危機感をもった国王フランソア1世(39)がルター派抑圧を命じたため、コップに続きカルヴァンもパリを逃亡する。 1534.8.15、パリ、スペインのイグナティウス・デ・ロヨラらがイエズス会を創立する。 1534.10.18、フランス、教皇やカトリック教徒を罵倒する戯文が、パリや地方都市でばらまかれるブラカード(アンボアーズ)事件が起こる。 1534年、フランス、ラブレールが「第一之書カルガンチュア」を刊行する。 1536年、フランス、人文主義者ルフェーヴル・デターブルが没する。 1538.6.17、フランス、独仏間でニース条約が締結され、10年間の休戦が成立する。新教徒の協力が不要となったフランソア1世(44)は、すぐに新教徒弾圧令を出す。 1539.8.10、フランス、フランソア1世が、公文書はラテン語ではなくフランス語で書くことを決定する。 1537年頃、フランス、外科医のバレが軍医として活躍する。 1541年頃、フランス、第1次フォンテンブロー派を中心にフランス・ルネサンスが開花する。 1542.7、ヨーロッパ、フランソア1世がネーデルラントに侵入し、カール5世との戦争が再開される。 1544.9.19、フランス、イギリス・神聖ローマ皇帝連合軍に敗れたフランソア1世は、カール5世とクレピエーの和約を結び独仏戦争を終結させる。 1545年、フランス、外科医アンブロアーズ・バレが、「銃創治療法」を発表する。 1546.8.3、パリ、印刷業者エティエンヌ・ドレ(37)が、改革派人文主義者の著作を出版したため処刑される。 1547.3.31、フランス、国王フランソア1世(53)が没し、アンリ2世(28)が王位を継ぐ。 1548.11.17、パリ、パリ高等法院が受難劇禁止令を出す。このころの受難劇は宗教的效果を失って、豪奢で扇情的なものになっていた。 1549年、パリ、文筆家ヨアキム・デュ・ベレ(27)が、「フランス語の擁護と顕揚」を出版する。 1552.1.15、フランス、ザクセン選帝侯モーリツ(31)が神聖ローマ皇帝カール5世を裏切って、フランス国王アンリ2世(33)とフリーデヴァルト条約を結び、メッツ(メッス)、トゥール、ヴェルダンの3司教区の割譲を約束する。 1552年頃、フランス、陶芸家ベルナル・バリシーが、ろくろを使わず型取りによる製陶法を編み出す。 1555.3.1、フランス、医師で占星術師のノストラダムスが、予言詩「諸世紀」を出版する。 1557.2.13、フランス、ユグノー(新教徒)弾圧のため、国王アンリ2世(38)が教皇に申し出て異端審問所を設ける。 1558.1.7、フランス、フランス軍が、大陸におけるイギリスの最後の拠点カレーを奪回する。 1559.4.3、フランス、フランスが、前日のカトー・カンブレジでのイギリスとの和約に続き、スペインとのあいだでも和約を結び、1494年以来のイタリア戦争が終結する。これによりフランスはシャルル8世以来の征服地の大部分を失う。 1559.5.28、フランス、パリではじめてのカルヴァン派の宗教会議、第1回全国改革派会議が開かれる。このころから、フランス国内では民衆による過激な反ユグノー運動が盛んになる。 1559.7.10、フランス、宮廷の槍試合で負傷したアンリ2世が没する。 1559年、フランス、駐ポルトガル大使ジャン・ニコがタバコを入手し、フランスに伝える。 1560.3、フランス、新教徒のコンデ親王ルイ(30)を中心とする国王拉致計画が発覚する(アンボアーズの陰謀)。 1562.1.17、フランス、カルヴァン派のユグノーに、都市郊外での礼拝を許可するサン・ジェルマン王令が出される。しかし、翌2月には高等法院が王令の登記を拒否する。 1562.3.1、フランス、ギーズ公フランソアが、ユグノー30人を虐殺する(ヴァシーの虐殺)。 1563.2.24、フランス、ユグノー戦争のオルレアン攻囲戦でギーズ公フランソアが死亡する。3月19日、新旧両派はアンボアーズ和約を結ぶ。 1564.1.1、フランス、これまで復活祭の前日とされていた1年の始まりを1月1日に変更する。 1567.9.29、フランス、南部のニームで、新教徒による旧教徒150人の虐殺(聖ミカエルの日事件)が起こり、ユグノー戦争が再開される。 1568.3.23、フランス、新旧両派が和約を結び、第2次ユグノー戦争が終結する(ロンジュモーの和議)。しかし、効果はなく8月には第3次ユグノー戦争が再開される。 1568年、フランス、法律家で思想家のジャン・ボーダン(38?)が、新大陸からの貴金属の流入と16世紀西欧の物価上昇との関連について指摘する。 1569.3.13、フランス、新教側の指導者コンデ親王がジャルナックの戦いで捕らわれ殺害される。 1570.8.8、フランス、新旧両派間で休戦と部分的信仰の自由を定めたサン・ジェルマン和約が結ばれ、第3次ユグノー戦争が終わる。 1572.8.24、パリ、カトリック教徒の一隊が、ユグノー貴族を襲い虐殺する(サン・バルテルミの虐殺)。 1574.5.30、フランス、国王シャルル9世(24)が没する。前年、ポーランド王になった弟アンリ・ド・ヴァロア(23)が帰国し、7月18日にアンリ3世として即位する。 1576.11、パリ、カトリックの過激派ギーズ公アンリ(26)が、旧教同盟を結成する。 1576年、フランス、社会思想家のジャン・ボーダンが、「国家論」を著し国家主権の概念を示す。 1577.9.17、フランス、ベルジュラック和約が結ばれ、第6次ユグノー戦争が終結する。同時に、国王アンリ3世(26)はポアティエ王令を発し、前年のポーリューの王令で約束した信教の自由を撤回する。 1580年、フランス、思想家ミシェル・ド・モンテーニュ(47)が、「エッセー(随想録)」2巻を刊行する。 1581年、パリ、カトリヌ・ド・メディシス(62)が設立した「王后のバレー・コミーク」座が、ルーヴル宮ブルボンの間で公演を行う。宮廷/バレーはのちのバレエの原型となる。 1585.7.18、フランス、国王アンリ3世がヌムーール王令を発し、アンリ・ド・ナヴァルの王位継承権を剥奪する(三アンリの戦いの始まり)。 1588.5.12、フランス、ギーズ公アンリ(38)率いる旧教同盟と国王軍との紛争で、パリ市民がギーズ側について蜂起する。翌13日、国王アンリ3世(37)がパリを追われる(「パリゲードの日」事件)。 1588.6、パリ、モンテーニュが、「エッセー」第4版を刊行する。 1588.12.23、フランス、アンリ3世の刺客が、フロアで全国三部会出席中のギーズ公アンリを暗殺する。 1589.4.3、フランス、国王アンリ3世と新教軍の総帥アンリ・ド・ナヴァルが和解して、共同で旧教同盟に対抗する盟約を結ぶ。 1589.8.2、フランス、国王アンリ3世が死亡する。2日後、アンリ・ド・ナヴァルが、跡を継ぐ。 1590.3.14、フランス、アンリ4世がイヴリーの戦いで旧教同盟軍を破る。 1590.5、フランス、アンリ4世がパリを包囲する。しかし、8月末にスペインからの旧教側への援軍が到着したため、アンリ4世は包囲を解く。 1591年、フランス、パリでは旧教同盟が恐怖政治を行い、フランス各地の戦争にはスペインやイギリス、神聖ローマ帝国が干渉し、フランスは無政府状態に陥る。 1591年、フランス、法律家で数学者のフランソア・ウィエト(51)が、「解析法序説」を著し、未知数や不定数に記号を用いる代数学を創始する。 1592年、フランス、西南部のペリゴール地方で、重税に反抗する農民反乱が起こる(クロカンの乱)。 1593.2、フランス、旧教同盟が招集した三部会と高等法院が、カトリックの国王を望むという声明を出す。 1593.7.25、フランス、国王アンリ4世がカトリックに改宗する。 1594.2.27、フランス、アンリ4世が、シャルトル大聖堂で正式にフランス国王として戴冠する。ついで3月22日にパリ入城をはたす。 1594.12.24、フランス、ジャン・シャテルの国王暗殺計画が失敗する。高等法院は29日にシャテルを処刑し、彼がイエズス会の学校出身であったことから、イエズス会士追放令を出す。 1594年頃、フランス、第2次フォンテンブロー派が活躍する。 1595.1.17、フランス、国王アンリ4世(42) が、スペインに宣戦を布告する。6月にはスペイン軍に大勝する。 1598.5.2、フランス・スペイン、ヴェルヴァン条約が結ばれ、3年間にわたったフランス・スペイン間の戦争が終結する。 1598.4.13、フランス、国王アンリ4世がナントの王令を発布し、ユグノー戦争が終結する。
イギリス	フランス